

通行区分のあり方検討

レンガ坂の通行区分の効果을把握するために、ビデオカメラで動画を撮影し、AIシステムにより歩行者・自転車の通行量等を計測



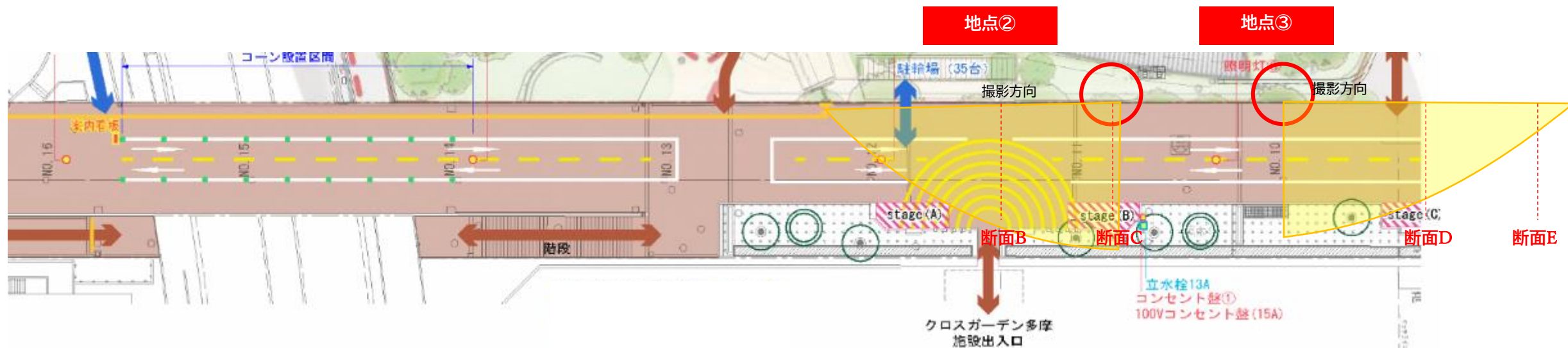
レーン区分による通行



横断歩道帯

カメラ設置

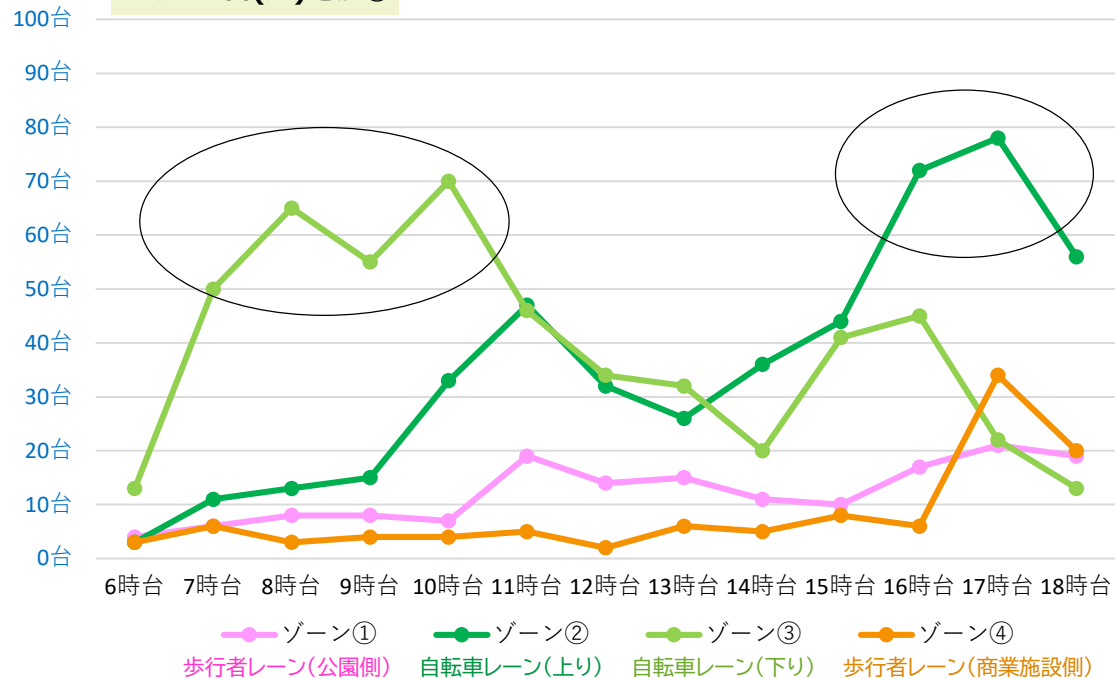
【10月レンガ坂社会実験】自転車通行量等測定位置



【10月レンガ坂社会実験】ゾーン別の自転車通行量

※代表的なデータを掲載しています。

10月30日(月)地点③

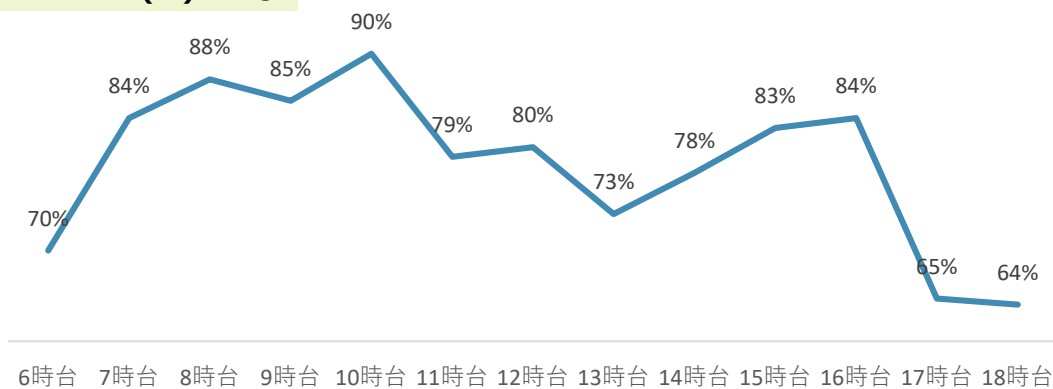


自転車の通行位置をゾーン別に計測しました。

午前中にゾーン3(商業施設側の下り自転車レーン)が多く、夕方にゾーン2(公園側の上り自転車レーン)が多い傾向にあります。

→朝はレンガ坂を下り多摩センター駅方面へ向かい、夕方はレンガ坂を上って帰宅していることがデータでも確認されました。

10月30日(月)地点③



自転車レーンを通行している自転車の割合 (ゾーン②+③/ゾーン①+④)

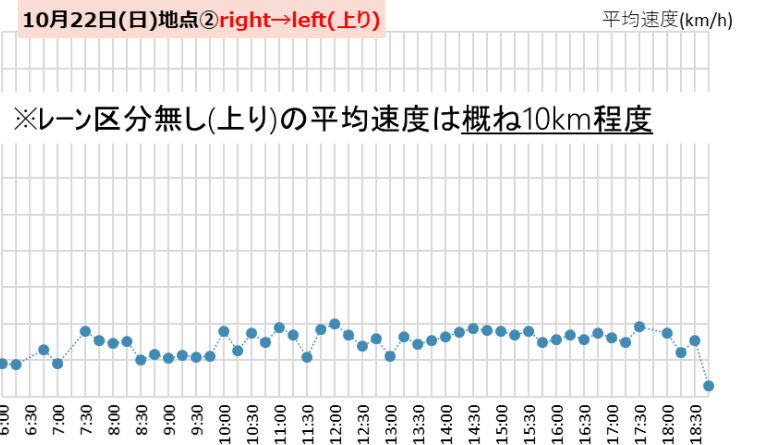
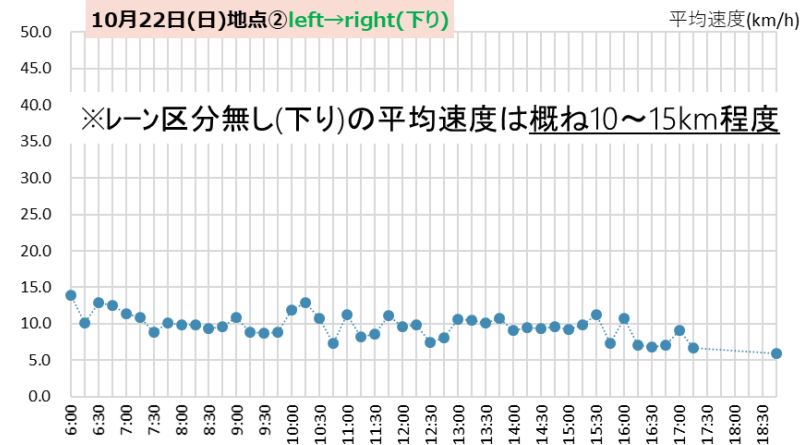
時間帯の差はありますが、多くの自転車が自転車レーン内を走行していたことが確認されました。

【10月レンガ坂社会実験】自転車通行量等測定位置

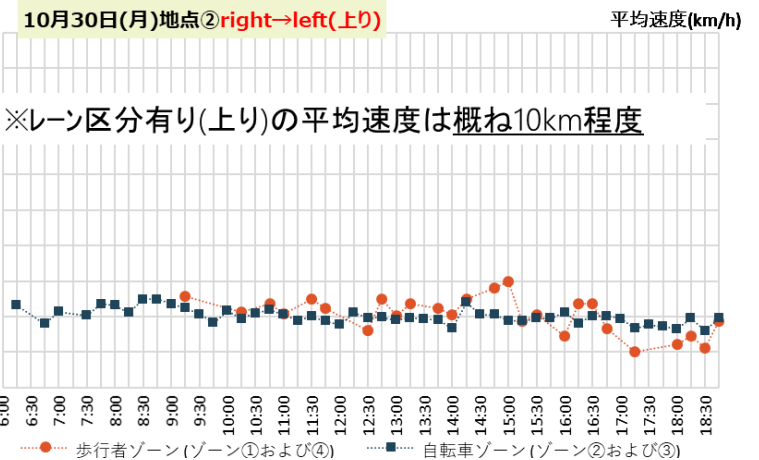
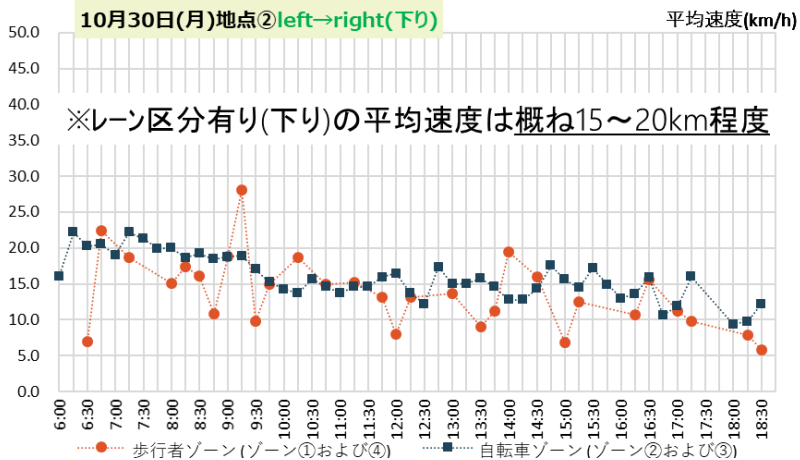
※代表的なデータを掲載しています。

レーン区分により、レンガ坂を下る方向の自転車のスピードが増加傾向となりました。

区分無し



区分有り

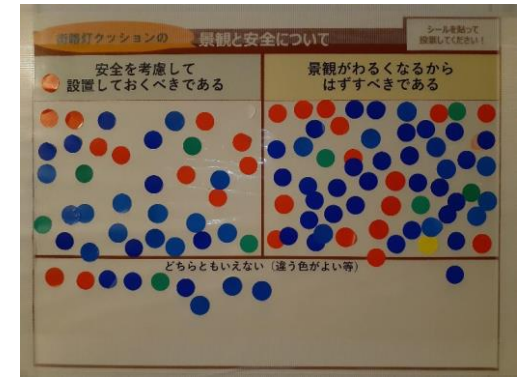
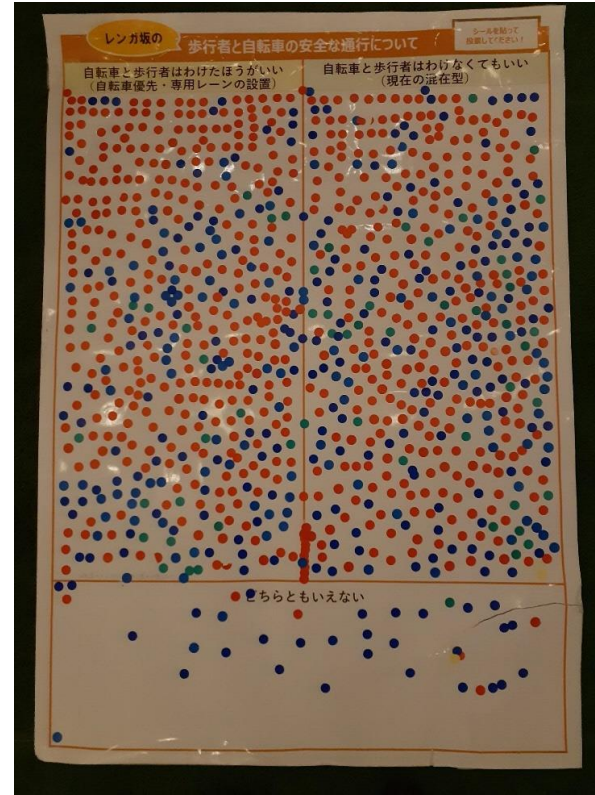
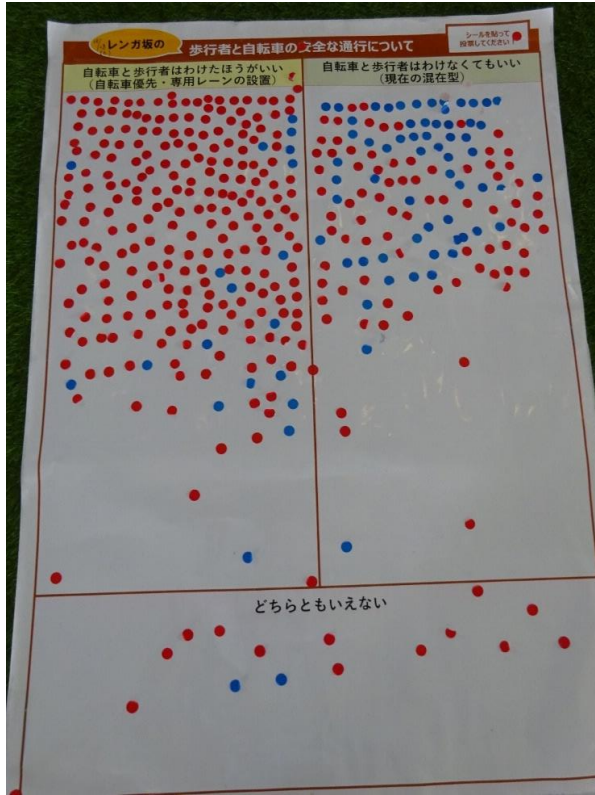


下り走行

上り走行

【参考情報】 シールアンケート結果

ご意見は様々ですが、
通行空間について考えて
いただくきっかけとして
設置いたしました。
多くのご参加ありがとうございました。



歩行者と自転車の安全な通行について
【黄:レーン設置 緑:現在の混在型】
(左:10/28イベント時 右:10/30~5日間)

街路灯クッションの景観と安全について
【緑:設置 黄:はずすべき】
(10/30~5日間)